

インタビュー中、何十年前のことでも数字や固有名詞がすらすらと出てくる、キャスターの草野仁さん。向上心と好奇心に溢れ、オンもオフもエネルギッシュに過ごす草野さんの姿は、生涯現役を目指す人々を勇気づけている。

ヨコハマ 想い vol.77

横浜市民25年目

横浜には25年ほど前に越してきました。その前は川崎に住んでいました。NHKの社宅が田園都市線の沿線にあり、このあたりの土地に親しみがあったのです。ちょうど住み心地が良さそうな家が見つかり、横浜市民になりました。

もともと横浜には馴染みがあり、特に横浜スタジアムは、できた年から中継でよく通った思い出深い場所です。2人の息子と一緒に野球観戦にも行っていたので、2人とも横浜ファンになりました。野球を観た後は中華街でご飯を食べるのが定番コース。今でもしょっちゅう食事に行きますよ。

スポーツ少年が一転、勉強の道へ

旧満州で生まれ、長崎県の島原で育ちました。父は新工業大学で数学を教えていましたが、終戦後、シベリアの収容所に送られ、島原に戻ってきたのは3年後のことでした。父は苦勞して長崎大学に教授の職を見つけ、母は音楽教師に。4人の子どもを皆大学にやっただけで両親は苦勞したと思います。

今思えば、あばら屋という言葉がぴったりの家だったと思いますが、私は気にせず、元気に外を駆けまわっていました。かけっこは1番でしたし、相撲も強かった。学校は勉強する場所ではなく、遊びに行くところと思っていました。

父はしつけには厳しかったです。高校の時、陸上部で100m走や走り幅跳びに打ち込んでいましたが、「スポーツで活躍できる期間は短いから、将来のことを考えてしっかり勉強するように」と、2年生の時に言われました。父が自分のためを思って言ってくれたと知っていたので、退部は残念でしたが、納得して勉強に専念することにしました。2度目の受験で、兄二人と同じ、希望の大学に何とか受かりました。

志望外でアナウンサーに

大学卒業後はNHKにアナウンサーとして採用されました。報道記者を志望して受けたので、予想外の結果でした。最初は方言もあるし無理だと思いましたが、「アナウンサーの中で、自分で取材できるポジションはないだろうか」と切り替え、先輩の仕事を観察し、スポーツアナウンサーを目指すことにしました。

最初の勤務地は鹿児島放送局。スポーツに関わる仕事は進んで引き受けました。地方の小さな大会や、注目されないマイナーな競技でも、選手やその家族、関係者の皆さんにとっては真剣勝負の晴れ舞台。それならば、自分があらゆる競技で誰よりも詳しいアナウンサーになろうと一生懸命に取り組みました。その姿を誰かが見てくれていたのでしょうか、入局10年でスポーツアナウンサーとして東京に戻ってきました。10年間、どの地方局に行っても男性職員の中で年齢が一番下だったので、お茶くみもうまくなりました(笑)。

物事の核心をつく番組づくり

NHKを退職したのは41歳の時です。ありがたいことに、フリーになってからもたくさんの番組に携わらせていただきました。番組をつくる上で常に心掛けていたのは、「物事の核心を正確につく」ということ。昼の情報番組「THEワイド」で、化学兵器としてのサリンの恐ろしさを追究し、視聴率が何度も20%を超えたのは、そこがぶれていなかったからだと思います。

毎週土曜日放送の「世界ふしぎ発見!」は、私が独立した翌年から始まり、もう34年続いています。当たり外れを問うのではなく、ゲストが解答までたどり着く姿を楽しむクイズ番組です。歴史を扱っていますが、現代とからめた視点で紹介するなど、鮮度の高い情報としてお届けしているところも長く続いて

夢実現
草野仁

テレビキャスター
草野仁さん
kusano hitoshi

1944年生まれ。東京大学卒業後、NHKに入局。スポーツアナウンサーとして活躍し、ロサンゼルスオリンピックではスタジオ総合司会を務める。1985年NHKを退局し、フリーのキャスターに。出演中の番組に「世界ふしぎ発見!」(TBS)、「主治医が見つかる診療所」(テレビ東京)、「草野仁のGate」+「プラス」(グリーンチャンネル)など。『老い駆ける!人生』(角川新書ほか)著書多数。横浜市在住。



いる理由ではないでしょうか。もちろん、毎週見てくださる視聴者と、番組をずっと支え続けてくださるスポンサーの存在も大きいです。これほどの番組に関わらせていただいたことはこの上ない喜びです。

多彩な趣味でリフレッシュ

オフの時にすることと言えば、まずは映画鑑賞です。息子も映画が大好きで、彼が学生の時は競うように私も見ていました。今でも一緒にドラマなどを見ています。新型コロナウイルスの影響で、今はもっぱら家での鑑賞ですが、最近見た中ではNetflixでやっていた「サバイバー:宿命の大統領」というアメリカのドラマが面白かったですね。

スポーツ観戦ももちろん大好きで、東京ドームの年間シートを持っていますし、相撲もよく観ます。また歌うことも大好きで、今

は自粛していますが、よく一人カラオケにも行きます。谷村新司さんや布施明さん、あとは演歌を歌うことが多いですね。一人だと気を遣わず次から次へと歌えるし、採点も楽しみ。2度ほど、95点を超えたこともあります。1時間くらい歌うといい気分転換になるし、一人カラオケは意外に楽しいですよ。

それから欠かせないのが競馬。私は50年来、愛好してきて、「競馬健康法」を広めています。どういうものかという、まず競馬はスケジュールが決まっているので、規則正しく生活できます。競馬場に行って目の前に広がる芝生を見れば開放感を感じてストレスが解消されますし、パドックと自分の席をレースごとに行き来するので、1日6,000歩は歩きます。レース中はドキドキ興奮、お金の計算では頭も使う。間違いなく健康にいいですよ(笑)。おすすめですよ。

10月17日(土) 東戸塚で相談会

相談会概要

- 日程 10月17日(土)
- 時間 ①9:30~ ②10:30~
③11:30~ ④12:30~
- 定員 各回先着1組
※完全予約制、参加費無料
- 相談員 梅澤忠税理士事務所
梅澤忠先生
- 会場 SSビル2階
JR東戸塚駅西口徒歩2分

WEBでのお申込み



0120-307-341 10:00~17:00 (火水祝定休)

応募メール hello@sekisuihouse.co.jp

メール・WEBのみ24時間無休での受付

※応募者の個人情報は、相談会運営と今後の案内に利用します。

税理士に聞ける! 「相続の無料個別相談会」開催

こんな人は相談してみませんか

- わが家の相続税がどれくらいかかるか知りたい
- 首都圏に土地を所有している
- 小規模宅地の特例って?
- 資産の整理に悩んでいる



将来心配な相続税。80%も節税出来る特例ってご存知ですか?

人口の4人に1人が65歳以上の高齢化社会を迎えた日本。どの家庭にも必ずやってくるのが相続の問題。

相続した不動産は大きな資産となりますが、平成27年1月に相続税法が改正され相続税の大増税時代が始まりました。税制改正前であれば相続税がかからなかった方も相続税対策が必要になるなど、相続の話はもう他人事ではありません。

ご家族の大切な資産を守り継ぐためには、親子と一緒に将来を見据えた税金対策を考えておくことが必要となっています。例えば「小規模宅地等の評価減の特例」とし

て二世帯住宅で相続税対策をした場合、一定の要件を満たす人が相続すると、相続税を計算する上での土地の評価額が80%減額になります。そんな特例を利用するための要件など、具体的な相談をしてみませんか?

積水ハウスでは経験豊富な税理士を招き、個別相談会を開催。ご要望があれば、一級建築士の同席も可能です。少しでも気になること、不安なことがある方はこの機会に参加してみてください。

お申込みは電話、WEB、メールから。メールはお名前・ご住所・お電話番号・希望時間を明記の上、お申込み下さい。